

令和4年度学校環境緑化モデル事業報告

「常石ガーデン」の誕生 : 福山市立常石ともに学園

福山市立常石ともに学園（甲斐和子校長）は、福山市の南西部に位置する8学級、児童数122名の学校です。瀬戸内海や眺洋山などの豊かな自然環境と、常石造船という歴史ある企業を間近に望む学校です。

開校前の常石小学校の時から緑の少年団を構成し、児童が植物や昆虫などに直接触れたり感じたりしながら、五感を働かせて学びを深めるホンモノの体験を大切に、教育活動を推進しています。

本校では、地域の方のご厚意により貸していただいている畑で、低学年は野菜の栽培活動に取り組んでいます。今年度は、ナスやトウモロコシ、オクラ等の野菜を育てていきました。せっかく育てた野菜がイノシシの被害に合ってしまう、児童は悲しい思いをしました。次はどのようにすれば被害を防ぐことができるかを話し合うなど、来年の栽培に向けて気持ちを切りかえ、意欲を高めています。

また、高学年は昨年度に続き、「インスタ映えするスポットをつくろう」と、ヒマワリ畑をつくることに取り組みました。始めはなかなか芽が出ませんでした。発芽の条件や水やりの仕方など、児童と先生で話し合いながら進め、夏には見事にヒマワリ畑をつくることができました。

児童の学びをさらに深めるため、国土緑化推進機構の助成を受け、果樹園の設置を行いました。この学校環境緑化モデル事業は、全国のローソン店頭で設置されている「緑の募金」に寄せられた募金を活用して実施されています。

令和5年3月8日に行われた完成記念式典には、地元ローソンの店長さんや広島県みどり推進機構の方々、そして本校の全児童が出席しました。式の中では来賓の皆様と代表児童による記念植樹が行われ、全校で完成を祝いました。児童からは「みんなでしっかり水やりをして、たくさんの実をつけたい」「『常石ガーデン』が学校や地域のシンボルになるように、みんなで大切にしていきたい」など、地域の方々との繋がりを深めようという思いがあふれていました。

これから、この果樹園「常石ガーデン」を、児童がホンモノに触れ、学びを深めることのできる場、児童と保護者、地域を繋ぎ、自然の有難さを感じられる場となるよう、大切にしていきたいです。



【常石ガーデン】



【完成式典】



あいさつ (甲斐校長)



祝辞 (ローソン沼隈新川店 妹尾オーナー)



記念植樹